



8

News Letter

巻頭言
2022年度大会
開催案内
ISAE2021参加助成
年会費納入のお願い

2022. Jun.

動物の行動と管理学会

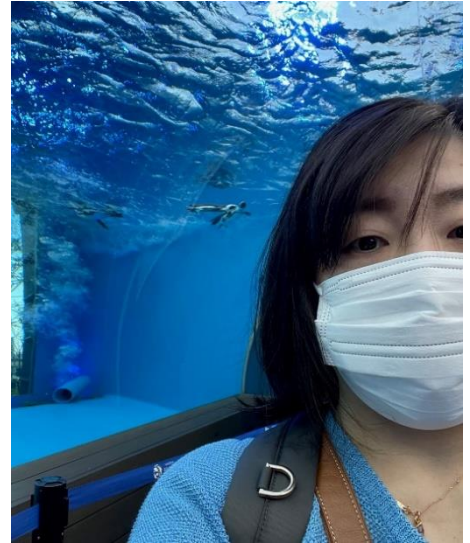
巻頭言 副会長挨拶

加隈良枝（帝京科学大学）

コロナ禍も丸二年を越えて三回目の夏が近づき、マスクを外したくなる暑い日も増えてきました。私は東京在住で、職場の北千住に行くのに都心を通り抜けて通勤するのですが、朝晩は満員電車やキャリーケースを転がす人を、よく見かけられるようになりました。繁華街を通りかかれば、週末ごとに人出が増えています。近々外国人観光客の解禁や旅行の割引なども始まり、日本もようやくウィズコロナ体制に移りつつあるようです。イギリスではもうマスクをしている人は1割くらいという記事を見て、そろそろまた国際学会に行かれる日も来るのかと少しずつ思えるようになってきました。皆様も徐々にかつての忙しさに戻ってこられていることかと存じます。

本学会でも、大会担当幹事の皆様のご尽力により、今年度の大会は対面開催が実現の運びとなりました。9月1日～2日に横浜の会場で開催予定です。また、遠隔地の方でも、濃厚接触者になってしまっても、気軽に参加できるオンラインとのハイブリッド方式で準備してくださっています。自粛期間にじっくり取り組んだ研究を発表したい方、同じ分野に関心をもつ聴衆の前で初めて発表する機会を心待ちにしてきた学生さん、そしてコロナ対応に追われてあつという間に2年過ぎていることに呆然としている教員の皆さん（私もその1人です）、自分の研究や活動をふりかえり、次のステップに進むためのキックオフとして、ぜひご参集ください。対面でも遠隔でも、感染対策に気を付けながら、関心を共にする仲間と会っておしゃべりや議論をしたり、好奇心を満たす楽しい時間を過ごしたりしていただくことが、学会活動の原動力につながることを期待しております。

折しも昨年から今年にかけて、海外でも国内でも、動物福祉に影響する新しい法規制等の社会の動きが盛んになっています。昨年大会の公開シンポジウムでも話題にしましたが、令和元年の動物愛護管理法改正にもとづき犬猫飼養保管基準が策定され、この6月から既存の動物取扱業者にも適用となりました。マイクロチップの装着義務化も多く報道されています。同じ年に成立した愛玩動物看護師法が今年施行され、国家試験が始まりますが、有資格者には動物医療の補助だけではなく、適正飼養の指導に関わることも求められます。今年に入り、農水省ではアニマルウェルフェアに関する意見交換会が開催され、様々なステークホルダーによる議論が始まりました。とうとう国として、畜種ごとの飼養管理指針を策定するそうです。一方海外に目を向けると、実験動物は魚類等にシフトし、サーカスやショーの禁止、ペットショップでの子犬子猫の販売禁止、イカ・タコ類や甲殻類を配慮対象に含める、といった法律も成立しています。社会の中で動物への配慮が形を成すなかで、私たちの学会では、動物の行動からその心情や要求を科学的に理解し、彼らにとって最善の管理をしていくための研究に取り組んでいます。動物への配慮のための仕組みが作られることは喜ばしいですが、実現のために必要な科学的根拠や技術を提供していけるよう、皆様とともにさらにこれからも邁進していきたいと思えます。



動物の行動と管理学会2022年度大会について

加瀬ちひろ(大会担当・麻布大学)
田辺智樹(大会担当・北海道立総合研究機構研酪農試験場)
新村 毅(大会担当・東京農工大学)
リングホーファー萌奈美(大会担当・帝京科学大学)

今年度の大会を下記の日程にてハイブリット開催(対面+オンライン)する予定です。会場規模の都合上、対面での参加者は先着100名まで、オンライン参加者は先着150名までとします。ただし、優秀発表賞エントリー者およびポスター発表者は、優先して対面参加可能とします。なお、大会開催期間に開催地にて新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発令された場合には、完全オンライン開催に切り替えますので、御了承下さい。

学会参加(発表なしも含む)、公開シンポジウムへのWeb申し込みを開始しましたので、下記事項を参照の上、奮って御参加下さい。学会参加のみの場合も事前申し込みが必要となりますのでご注意ください。

申し込み締め切りは2022年8月21日(発表申し込みの締め切りは6月6日を予定)とします。申し込み後、申し込み内容の自動返信がありますので、Google formからのメールが受け取れる設定にしておいて頂くようお願い致します。自動返信がない場合は、担当者まで御連絡下さい。なお、上限に達した企画については、その時点で申し込みを締め切りますので、御了承下さい。一般講演は口頭発表とポスター発表から選択可能です。ただし、オンラインで参加される方は口頭発表のみとなります。懇親会のWeb申し込みは、後日行います。

【日程】

2022年9月1日(木)～2日(金)

学術大会(公開シンポジウム、口頭発表、ポスター発表、評議員会、総会、懇親会)

【開催場所】

対面参加者: ハウスクエア横浜(ハウスクエアホール、セミナールームA/B)

横浜市営地下鉄ブルーライン「中川駅」から徒歩2分

<https://www.housquare.co.jp/about/hole/index.html>

オンライン参加者: Zoomにて開催(大会開催URLは追ってご連絡いたします)

◆学術大会(9月1日～9月2日)

大会参加費: 無料

大会参加申し込み期間: 5月17日～8月21日

(発表申し込み〆切 6月6日、要旨〆切 6月20日)

申し込みフォーム: <https://forms.gle/r6JsTFR66XWogrAT8>

対面参加者: 先着100名まで

※定員になり次第対面での参加申し込みを締め切ります

※優秀発表賞エントリー者、ポスター発表者は優先して対面参加可能とします

オンライン参加者: 150名まで

※定員になり次第オンライン参加申し込みを締め切ります

◆公開シンポジウム(9月2日)

参加申し込み期間:5月17日～8月21日

申し込みフォーム: <https://forms.gle/9xTchLy31Wqkuvwy5>

対面参加者:先着100名まで

※定員になり次第対面での参加申し込みを締め切ります

※優秀発表賞エントリー者、ポスター発表者は優先して対面参加可能とします

オンライン参加者:150名まで

※定員になり次第オンライン参加申し込みを締め切ります

◇シンポジウムテーマ:動物とコンピューターのインタラクション

◇講演者

小林博樹(東大)

「アニマルコンピュータインタラクションと野生動物装着センサネットワーク機構」

山梨裕美(京都市動物園)・吉田信明(京都高度技術研究所)

「チンパンジーは映像の森を楽しむか?～動物園動物の福祉と研究におけるテクノロジー利用の可能性～」

新村毅(農工大)

「母鶏模倣型ロボットとのインタラクションによるヒナの行動制御」

【タイムスケジュール(予定)】

9月1日

9:30 受付

10:00～12:30 □頭発表(優秀発表賞エントリー演題)間2分計算で最大10演題

13:00 評議委員会

14:30～17:30 □頭発表(優秀発表賞エントリー演題、一般演題)間2分計算で最大12演題

9月2日

9:30～11:30 公開シンポジウム

11:30 昼休憩

13:00 総会

14:00 □頭発表(一般演題 15:30まで)間2分計算で最大6演題

16:00 ポスターセッション(奇数コアタイム30分間)

16:45 ポスターセッション(偶数コアタイム30分間)

17:30 優秀発表賞授賞式、閉会の挨拶

◆研究発表会申し込み要領

1)発表申し込み

発表者は、統合後の「動物の行動と管理学会」の会員の方に限ります。必ず2022年度会費を支払いの上、申し込みしてください。なお、発表申し込みの際には、①□頭発表(優秀発表賞エントリー)、②□頭発表(優秀発表賞エントリーなし)、③ポスター発表(対面参加者のみ)の3つからの選択となります。一般□頭発表の希望が多かった場合、対面参加の方にはポスターでの発表をお願いする場合があります。優秀発表賞は学生を対象としています(詳細は下記)。

2)講演要旨の作成

発表用の要旨作成依頼および発表資料の送付依頼は、申し込み期間終了後、発表者にお知らせするとともに、本学会のWebページに公開します。要旨締め切りは、6月20日を予定しています。申し込み締め切りから要旨提出締め切りまでのスケジュールが少しタイトですので、あらかじめ要旨の作成を進めて頂ければ幸いです。要旨については、例年通りA4サイズ1枚で作成してください。講演要旨作成要領は添付ファイルの通りです。また、学会HPからもダウンロードできます。

3) 発表方法

発表資料の送付依頼も、申し込み期間終了後、発表者にお知らせするとともに、本学会のWebページに公開します。

◇口頭発表

発表時間: 8分、質疑5分

発表者条件: 対面、オンライン参加のいずれも可能

※ただし、優秀発表賞エントリー演題は対面参加者に限る

発表方法: 対面での発表者は液晶プロジェクターでスクリーンにスライドを投影し、同時にオンライン上で画面共有する方法により実施します。発表用のコンピューター(Windows、Macの両方)は事務局で用意します。オンラインでの発表者はオンライン上でスライドの画面共有したものを、対面会場のスクリーンに投影します。スライドは、あらかじめ提出して頂くこととし、提出締め切りは8月24日を予定しています。

◇ポスター発表

掲示時間: オンライン上 8月25日～9月2日(質問への返答は9月4日まで可能にする予定)

対面 9月1日9:30以降、セミナールームAに掲示可能

(9月2日は混雑防止のため、事務局でセミナールームA/Bに分けて掲示)

発表者条件: 対面参加者に限る

サイズ: パーテーション(幅90 cm、長さ180 cm)に発表ポスターを掲示していただきます。推奨されるポスターサイズは横90 cm以内、長さ120 cm程度です。A4サイズやA3サイズなどの印刷物を現地で複数枚合わせて掲示することはできません。必ず1枚のポスターとしてご準備ください。事前にセロハンテープ等で1枚にしてあれば掲示可能です。ポスターを掲示するための画鋲やテープは事務局で準備します。

発表方法: 大会開催1週間前の8月25日より学会HPに掲示し、オンライン上での質疑応答をチャット形式で実施します。保護パスワードを設定することで、学会HP上でのポスターの閲覧と質問の投稿は大会参加者に限定します。学会HPに掲載するためのポスターファイルは、1ページ分のPDF形式で事前に提出してください。提出締切は8月18日を予定しています。大会当日は対面のみでの30分間のセッションタイムを設ける予定です。セッションタイム中、発表者は責任を持ってポスター前で発表してください。発表内容予告のためのプレゼンテーションタイムは設けませんので、ご注意ください。

4) 優秀発表表彰

学生(大学院生含む)を対象とした優秀発表表彰を行います。優秀発表表彰は、対面での口頭発表に限定します。優秀発表表彰を希望される方は、Web申し込みの際、「口頭発表(優秀発表賞エントリー)」を選択して下さい。受賞者の発表は大会最終日に行い、後日学会のホームページ、ニュースレターにも掲載します。

5) その他

現在、非学会員で研究発表会へ参加を希望される方は、事前に「動物の行動と管理学会」に入会し、2022年度会費(一般・学生会員: 4,000円; 法人会員: 12,000円以上(1□4,000円×3□以上)の納入をお願い致します。なお、シンポジウムへの参加は、非学会員の方でも可能です。

【重要】動物の行動と管理学会(以下、本会とする)は、特許法の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」の指定を受けておりません。したがって、特許出願前に、本会が主催する研究発表によって、日本国内において公然と知られた発明の場合には、特許を受けることができません。特許申請をお考えの発表者におかれましては、十分、お気をつけくださいますようお願い致します。

ISAE参加助成について

深澤 充(国際連携担当・東北大学)
山梨 裕美(国際連携担当・京都市動物園)

本年8月に北マケドニアで開催される第55回国際応用動物行動学会大会で研究発表を行う学生会員に対する参加助成を募集いたします。

事業の詳細につきましては以下のURLをご確認ください。

<http://jsabm.org/attendance-fund/>

大会はコロナ禍のため、ハイブリッド開催の予定となっております。

そのため、原則申し合わせに書かれてある通り進めますが、以下の点をコロナ禍の特例として選考を行います。

- ・申込書の参加形態の欄にオンラインか対面か加筆してもらう。
- ・選考は対面参加者を優先する(上限5万円)
- ・オンライン参加者は25000円の補助(事前登録が200€≒27000円)

申請締め切りは6/10とします。上記URLから申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、深澤(michiru.fukasawa.b4@tohoku.ac.jp)までお送りください。締め切り後、速やかに選考を行い、6/15までに交付者に連絡する予定としております。

尚、質問等ございましたら深澤(michiru.fukasawa.b4@tohoku.ac.jp)までご連絡ください。

タイトな日程で大変恐縮ですが、たくさんのご応募をお待ちしております。

年会費納入について

多田 慎吾(会計担当・北海道農業研究センター)
二宮 茂(会計担当・岐阜大学)

動物の行動と管理学会は会員の皆様からの会費によって運営されております。会計年度は3月1日から翌年2月末日までとなっており、当学会では年度が始まるまでの前納をお願いしているところです。しかし、2022年度の会費納入率はこれまでのところ約8割に留まっております。会費納入は随時受け付けておりますので、ご都合よい時にご対応いただきますと幸いです。

一般会員・学生会員の年会費は4,000円、法人会員の年会費は12,000円以上(1口4,000円×3口以上)です。

ご納入には、学会誌3号に同封の払込用紙をご利用いただくか、郵便局備え付けの払込用紙(青色、振込人が振込料金を負担する用紙)に以下の振込先をご記入の上、お振込みをお願い致します。電信振替やネットバンクによる振込みも可能です。また、複数年分まとめてのお振込みも受け付けております。

口座名称:動物の行動と管理学会(ドウブツノコウドウトカンリガッカイ)

口座記号番号:02220-0-143309

通信欄・ご依頼人欄におところ、お名前を明記してください。

ゆうちょ銀行への送金によりご入金される場合は、

ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900 店番:229 店名:二二九 ニニキュウ 口座番号:0143309(当座)

にご送金をお願い致します。

編集後記

萩原 慎太郎(福山市立動物園)

発刊が遅れてしまい申し訳ありません。。今回も、皆さまのご協力で発刊することができました。

今後も依頼がありましたらご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、記事にして欲しい内容などありましたら、萩原(hagiwara_s@animbehav-toki.com)までよろしくお願いいたします。